

校内

教科・学年・組・授業者
授業日時・場所
単 元 名
単元の目標
単元の指導計画
本時の目標
本時の評価
本時の授業形態
タブレット端末の
授業場所
活用場面
活用機器
活用 アプリケーションなど
活用形態
研究主題にせまる タブレット端末活用の 手立て

タブレット端末の活用において期待される効果

研究 ICT 機器活用指導案

理科 2年C組 諏佐祐子
6月17日（木） 6 時間目 2 年 C 組教室
生物の体のつくりとはたらき
生物の体の観察を行い、細胞でできていることを理解する。 植物と動物の体のつくりとはたらきについて、実験の結果と関連付けて理解させる。
①生物の体を作るもの（6） ②植物の体のつくりとはたらき（9）本時（7／9） ③動物の体のつくりとはたらき（5） ④動物の行動のしくみ（6）
茎について観察を行い、維管束の形と物質の移動を関連付けて理解させる。
・茎の断面図を観察し、丁寧にスケッチすることができる。 ・単子葉類と双子葉類で、維管束の配置が違うことを理解する。 ・維管束内の物質の移動について考えることができる」。
☒ 一 斉 ☐ 少人数 ☐ 習熟度別 ☐ グループ ☐ 個 別
活用
☒ 普通教室 ☐ 学習室 ☐ 視聴覚室 ☐ その他（ ）
☒ 導 入 ☒ 展 開 ☐ まとめ ☐ その他（ ）
☒ 学習者用タブレット ☒ 指導者用タブレット ☐ 電子黒板 ☐ 実物投影機 ☒ その他（ ）
☐ ワープロ ☐ 表計算 ☒ プレゼンテーション ☐ データベース ☐ 画 像 ☐ 動 画 ☐ カメラ ☐ 作 画 ☐ 編 集 ☐ デジタル教科書 ☐ NHK for school ☐ その他（ ） ☒ まなびポケット ☒ スクールタクト ☐ AIAIモスキー ☐ コラボノート ☐ イングリッシュセントラル ☐ その他（ ）
☒ 1 人 1 台 ☐ 学習班に1台 ☐ その他（ ）
・顕微鏡の代用として、一人一台タブレットを使い、観察を行うことで、細部まで丁寧に表現させる。

一人一人意欲的に取り組むことができる。

授業展開例

	学習内容 生徒の学習活動	I C T 活用場面 I C T 活用のポイント	○指導上の留意点 ☆評価
導 入	・ 前回観察した、ツバキと トウモロコシの茎の横断面 図から、双子葉類・単子葉 類の区別を行う。（５分）	茎横断面図をスクリーンに映す。 生徒は自分のスクールタクト内 の図で確認をする。	○単子葉類と双子葉類は 毎回同じ植物をあげる。
展 開	ツバキとトウモロコシの茎 の横断面図から、好きな断 面図を選び、道管・師管を 意識しながらスケッチを行 う。（１５分）	スクールタクト内の図を拡大 し、細かいところまでスケッチ をする。	○スケッチの方法を確認 ☆細部まで表現できてい るか。
	色水につけ植物の茎横断面図 はどの部分が染まるか、既 習事項から考えて、スクー ルタクトのシートに色を塗 る。 答え合わせをし、ノートに まとめる。（１０分）	道管に位置を意識しながら、 ワークシートに色をつける	☆道管・師管の位置と役 割を理解できているか。
ま と め	次回学ぶ、葉について１年 生の既習事項を確認する。		○双子葉類・単子葉類の 確認